

## 「雪に負けないサッポロづくり本部」における検討結果について

札幌市では、より一層、効率的・効果的な雪対策を進め、北国らしいゆたかな暮らしを実現するため「雪に負けないサッポロづくり本部」をことし4月に設置し、全庁的な体制で各課題への対策について検討を進めてきましたが、このたび、一旦の検討結果を取りまとめたのでお知らせします。

この中では、「市民との連携」「雪たい積場の確保」「除雪支援策の検討」を柱に協議を進め、実施可能な施策については今冬の雪対策に反映させることとし、さらに検討を要する施策については今後も引き続き議論を進めます。

「雪に負けないサッポロづくり本部」の役割および構成員

- ・ 本部会議：本部の運営に関する基本方針決定および対策内容の確認、検討、総合調整を行う。  
本部長：加藤副市長、副本部長：建設局長、関係局長職（19人）
- ・ 幹事会：基本方針に基づく進行管理や具体的な課題抽出のほか、対策内容の確認、検討などを行う。  
幹事長：建設局長、副幹事長：雪対策室長、関係部長職（26人）
- ・ 作業ワーキンググループ：各課題の解決に向けた対策内容の具体的な検討を行う。  
関係課長職（38人、重複あり）

### 1 今冬に反映する主な施策内容

#### (1) 市民との連携

##### 「地域と創る冬みち事業」の実施

市民・除雪事業者・行政で、生活道路の除排雪など地域が抱える課題を話し合い、必要に応じ、今までの基準や方法にとらわれない、地域の実情に合わせた新しい除雪方法を検討する「地域と創る冬みち事業」を10区176町内会で実施。

##### 雪対策事業に関する各種啓発キャンペーン

- ・ 本格的な除雪シーズンを前に、各区役所および市本庁舎で、市民から多数寄せられる除雪に関する質問などを分かりやすく説明した「雪対策事業パネル展」を順次開催(11月11日～12月20日)。
- ・ 雪対策への理解を深め、これからの地域の除排雪について考える「市民フォーラム『地域で創ろう！地域の冬みち』」を開催。

日時：平成18年12月9日(土)午後1時～午後3時30分

会場：札幌後楽園ホテル地下2階「ピアリッジホール」(中央区大通西8)

定員・費用：200人・無料

申し込み：市コールセンターに電話(222-4894)、ファクス(221-4894)、

Eメール(info4894@city.sapporo.jp)。先着順。

- ・ 滑り止め用の砂を入れたペットボトルや砂袋を、公共施設など1,000カ所を目標に配置する「ペットボトル1万本、1,000箇所配置作戦」(12月下旬～3月上旬)を実施し、市民との協働による冬期歩行環境の改善を目指す。特に、1月22日～28日は強化期間として「砂まきキャンペーン」を実施する。

### 「さっぽろ雪の絵本」の作製

札幌市の雪対策の現状を市民に分かりやすく伝えるとともに、今後の雪対策について、市民と行政が共に考え積極的に取り組むきっかけとするため、「さっぽろ雪の絵本（通称：ゆき本）」を、年内をめどに作製予定。

#### 地域の雪置き場として公共用地を試行的に活用

- ・ 公園（市内 50 カ所程度で調整中。主に地域の人たちが活用。平成 17 年度は 10 カ所）
- ・ 雨水貯留池（市内 15 カ所程度。パートナーシップ排雪などの除排雪作業に活用。平成 17 年度は 9 カ所）
- ・ 小学校グラウンド（市内 20 校程度で調整中。通学路の安全強化に活用。平成 17 年度は 4 校）

### (2) 雪たい積場の確保

雪たい積場を新たに 9 カ所確保。今年度は緊急時対応も含め 86 カ所とし、このうち当初開設は 78 カ所とした。

また、安定した雪処理を行うため、新たな雪たい積場の確保に向けた調査とともに、近隣自治体（石狩市、小樽市、北広島市、当別町）と連携を図る。

### (3) 除雪支援策の検討

#### 「市民助成トラック制度」の登録要件の緩和

「市民助成トラック制度」の 1 社当たりの登録台数を 5 台から 3 台に緩和することにより登録業者の増加を図る。

#### 各種ダンプの活用

ダンプ台数不足に対応するため、これまでの 10 t ダンプに加え、4 t ダンプなどを新たに活用。

## 2 今後のスケジュール

本部の集中的な取組期間を 3 年間としていることから、さらに検討が必要な対策内容については引き続き検討を進めるとともに、今冬に実施する対策については、実施後に評価・分析を行いながら拡充を図ります。

問い合わせ先

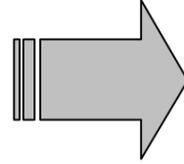
建) 雪対策室計画課 担当：石川、長谷川

電話 211 - 2682

# 「雪に負けないサッポロづくり本部」における検討結果について

## 本部の概要

雪対策事業を取り巻く環境	雪対策の課題
除雪に対する多様な市民ニーズ 本格的な少子高齢社会の到来 厳しい社会経済情勢 など	多様な市民ニーズへの対応 冬のルールの徹底、確立 企業の体力低下、除雪機械の確保 厳しい財政状況、雪たい積場の確保 など



「雪に負けないサッポロづくり本部」 集中取組期間：平成 18 年度からの 3 年間  
 雪対策の抱えるさまざまな課題の克服に向け、全庁一丸となって取り組む  
 より一層効率的・効果的に雪対策を進め、北国らしいゆたかな暮らしの実現を目指す  
 実施可能な施策は今冬の雪対策に反映  
 加藤副市長を本部長として、関係局長職により構成  
 （下部組織として関係部長職からなる幹事会、関係課長職からなる作業ワーキングを設置）

## 今冬に反映する主な施策内容

### 市民との連携

#### 地域と創る冬みち事業の実施

生活道路の除排雪について、地域が抱える課題を話し合い、地域の実情に合わせた新たな除雪手法を検討



**10区176町内会で実施！**

#### 雪対策事業に関する各種啓発キャンペーン

雪対策事業パネル展（11月11日～12月20日）



本格的な除雪シーズンを前に、市民から多数寄せられる除雪に関する質問などについてパネルを用いてわかりやすく説明

**各区役所及び市役所本庁舎で順次開催！**

#### 市民フォーラム

**みんなで考えよう！！**

雪対策への理解を深め、これからの地域の除排雪について考える

『地域で創ろう！地域の冬みち』

日時：12月9日（土）13時～15時30分

場所：札幌後楽園ホテル（中央区大通西8）

地下2階「ピアリッジホール」



#### ペットボトル1万本、1,000箇所配置作戦

市民と協働で滑り止め用砂をまくことにより冬期歩行環境の改善を目指す

特に1月22日～28日は強化期間として「砂まきキャンペーン」を実施



#### さっぽろ雪の絵本

雪対策事業の現状を広く発信  
 今後のあり方について、市民と行政が共に考えるきっかけづくり  
 （年内を目途に作製予定）



**雪対策事業を分かりやすく解説**

#### 地域の雪置き場として公共用地を試用活用

**雪の排出量を抑制！**

##### 公園（50カ所程度、H17は10カ所）

ルールを定めて主に地域の人たちが活用

春先の雪割り、ゴミ清掃などを地域で実施



##### 雨水貯留池（15カ所程度、H17は9カ所）

パートナーシップ排雪などの除排雪作業時に活用



##### 小学校グラウンド（20校程度、H17は4校）

通学路の雪を搬入し、通学環境の改善を図る



### 雪たい積場の確保

#### 平成 18 年度雪たい積場全体計画

	H17 当初	H17 実績	H18 当初計画	H18 最大計画
個所数	69カ所	82カ所	78カ所	86カ所
搬入量	1850万m <sup>3</sup>	2078万m <sup>3</sup>	2049万m <sup>3</sup>	2400万m <sup>3</sup>

新規開設：9カ所

当初開設は78カ所（2049万m<sup>3</sup>）

**最大でH17実績比2割増！**

#### 雪たい積場の確保に向け、近隣自治体とも連携

（石狩市、小樽市、北広島市、当別町）

### 除雪支援策の検討

#### 市民助成トラック制度の登録要件緩和

登録業者の拡大を図るため、登録に必要な1社当たりのダンプトラック保有台数を緩和

**ダンプトラックの確保策**

	現 行	改 正
ダンプトラック（10t級）	5台以上	ダンプトラック（10t級） 3台以上
普通トラック（平ボデー車4t級）	5台以上	4tトラック（平ボデー又はダンプ） 3台以上

#### 各種ダンプの活用

現行の10t車に加え、4t車や産業廃棄物運搬車両も活用